

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-03-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	中小企業人材確保支援事業	部課名	産業経済部就労支援課	課長名	青木			
		担当者名	浅倉	内線	466			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-19-01	中小企業人材確保支援事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 24（2012）年度	根拠						
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	05	活力ある地域経済づくり					
	施策	06	就労・人材確保の支援					
目的	区民の就労を支援するため、東京労働局と共催による雇用保険受給資格者向けのセミナーなどを実施し、区民のより一層の就労促進を図る。あわせて、区内企業の求人ニーズに対応するため、人材確保及び定着の支援を実施する。							
対象者等	主に就労を希望する区民							
内容	<p>1 就労支援セミナー 東京労働局・ハローワーク足立・荒川区共催就職支援セミナー（令和4年度末で事業完了） 3年度 参加者計 95名（12回実施） 4年度 参加者計 97名（15回実施）</p> <p>2 企業の求人支援事業 (1) 中小企業人材確保支援事業 求人開拓を行うとともに、求人企業への募集から定着までのコンサルティングを実施 4年度実績 求人支援件数 146件、求人支援人数 206人（庁内求人除く） (2) 中小企業若手従業員合同研修（定員24名） 若手従業員等に対し、ビジネスマナーをはじめとする研修を実施 参加者者計14名（4年度） ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業中止、同様に3年度は事業休止。 令和4年度事業再開。</p>							
経過	<p>平成24年度 就労支援課設置・事業開始</p> <p>平成25年度 若者に関する支援事業を「若者就労サポート事業」へ移管</p> <p>平成27年度 女性に関する支援事業を「女性就労サポート事業」へ移管</p> <p>平成29年度 モノづくり中小企業人材確保支援事業の実施</p> <p>平成30年度 中小企業若手従業員合同研修の実施 合同研修を東京都地域人材確保・育成支援事業補助金の事業として実施</p> <p>令和2年度 高齢者向け就労支援セミナーを就労支援事業からシニア就労サポート事業へ事務移管</p> <p>令和2/3年度 中小企業若手従業員合同研修について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止</p> <p>令和4年度 東京労働局・ハローワーク足立・荒川区共催就職支援セミナー事業完了</p> <p>令和5年度 事業名を「就労支援事業」から「中小企業人材確保支援事業」へ改称 若年者向け労働法セミナーの実施</p>							
必要性	本事業は区民に身近な基幹自治体として細やかな求職者への支援を行い、区全体での就業率向上に資するものであり、必要性は高い。また、区内企業の人材確保及び定着の支援については、産業振興の観点からも必要性は高い。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） ・ 中小企業若手従業員合同研修（委託先：ヒューマンアカデミー株式会社）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	セミナー参加者数(人)	37	95	97		880	令和4年度末で事業完了
	②	中小企業人材確保支援事業における求人支援件数(件)	81	71	146	150	150	令和2年度は新型コロナの影響で支援件数が減
③	中小企業若手従業員合同研修の参加者定着率(%)			100	100	100	令和2・3年度については、事業中止のため指標数値無し	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進	重点的に推進	セミナーは、引き続き関係機関との連携を図りながら推進する。区内企業の人材確保及び定着の支援についても、関係機関と連携を図りながら重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額	7,076	2,071	1,892	1,285	132	1,495	9,647
決算額 (5年度は見込み)	6,647	1,016	937	12	19	833	9,647
実績の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)							
セミナー参加者数(人)	779	800	827	37	95	97	-
合同研修参加者定着率		92	95	-	-	100	100

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
使用料等	会場使用料	19	需用費	消耗品費	0	報酬	就労支援専門員報酬	5,842
			役務費	郵券	5	職員手当等	就労支援専門員期末手当	1,169
			委託料	若手従業員研修委託	770	共済費	就労支援専門員社会保険料	1,007
			使用料等	会場使用料	58	旅費	就労支援専門員特別旅費	480
						役務費	郵券	7
						委託料	研修・セミナー委託	1,108
						使用料等	会場使用料	31

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	1,671	1,740	69	地方税等	0	0	0
	物件費	19	833	814	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	385	385
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	385	385
	賞与・退職給与引当金繰入額	215	112	▲ 103	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,905	▲ 2,300	▲ 395
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1,905	2,685	780	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,905	▲ 2,300	▲ 395
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,905	▲ 2,300	▲ 395

備考 行政費用について、事業実施に係る給与関係費のほか、研修事業の委託費用及びセミナーに係る会場使用料として物件費が計上されている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い研修事業を中止したが令和4年度は実施した。

問題点・課題 区内企業の人材確保及び定着を支援するため、「中小企業人材確保支援事業」について、十分な周知を行い、取り組む必要がある。
また、「中小企業若手従業員合同研修」について、新型コロナウイルス感染収束後を見据え、令和4年度以降再開時の運営方法および広報・周知等を議論する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	中小企業若手従業員合同研修の事業再開を見据え、運営方法、広報・周知について所要の措置を行う。	コロナ禍にあっても、中小企業人材確保支援事業では、積極的に人材確保・定着支援を実施した。	労働法セミナーの周知・広報に積極的に努め、参加者確保を図る。
②			
③			

他区の実況	(実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区)
況(要旨)	※未実施：千代田区・杉並区 平成26年度2月会議予特 区内企業の人材確保について 平成29年度6月会議 区内企業の人手不足対策について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-03-02		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	マイタウン就職面接会運営費		部課名	産業経済部就労支援課	課長名	青木		
			担当者名	浅倉	内線	466		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-19-02	マイタウン就職面接会運営費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 13	（ 2001 ）	年度	根拠				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	05	活力ある地域経済づくり					
	施策	06	就労・人材確保の支援					
目的	区内企業の人材確保と区内の就業者増を実現するため、ハローワーク足立及び足立区等と協力して就職面接会を開催する。平成15年度から、荒川区・足立区の合同で開催することとし、区内企業の人材確保と区内求職者の就職機会の増加を図った。また、24年度からは「マンスリー就職面接会」を毎月開催し、就職機会のより一層の拡充を図ることとした。							
対象者等	求人企業：荒川・足立区内企業及び近隣区内企業 求職者：荒川・足立区民及び周辺住民							
内容	1 主催者 荒川区、ハローワーク足立、足立区、東京商工会議所荒川・足立支部 2 開催場所 荒川区開催分：ムーブ町屋または日暮里サニーホール 足立区開催分：天空劇場または足立区役所庁舎ホール							
		開催回・開催場所	開催日	求人数	求職者	就職者数		
		・第45回（足立・天空劇場）	H30. 11. 14（水）	14社 48件	50人	13人		
		・第46回（荒川・日暮里サニーホール）	R1. 7. 19（金）	20社 88件	133人	32人		
		・第47回（足立・天空劇場）	R1. 12. 12（木）	14社 85件	147人	21人		
		・第48回（足立・天空劇場）	R3. 11. 18（木）	10社 48件	49人	15人		
		・第49回（荒川・ムーブ町屋）	R4. 5. 17（火）	8社 46件	25人	7人		
		・第50回（足立・天空劇場）	R4. 6. 15（水）	11社 44件	46人	3人		
経過	平成13年度	事業開始（年2回開催）						
	平成15年度	足立区と合同開催開始（年4回開催：荒川区2回・足立区2回）						
	平成19年度	年間開催回数を変更（年4回→年2回）						
	平成24年度	就労支援課へ事務移管 マンスリー就職面接会を開催（マイタウン開催月以外の毎月開催 年10回）						
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当該年度の開催実績なし						
	令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、11月18日（木）、12月14日（火）、3月16日（水）マンスリー就職面接会のみ開催						
必要性	合同面接会は、その場で複数の採用または面接を受けることができ求人企業・求職者双方にとって効率的な採用形式である。また求職者は人事担当者からの説明を聞いた上で、面接する企業を選択できるためミスマッチを減らすことが可能となる。これらのことから本事業を実施する必要性は高い。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input checked="" type="radio"/> 会計年度任用職員） 役割分担 区：会場確保、求人企業及び区内求職者へのPR ハローワーク足立：就職面接会全体の運営							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	就職者数(人)	0	45	76	150	150	令和2年度は新型コロナの影響で開催実績なし
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
推進		推進 区内企業の人材確保と区民の就業促進を図るために重要な事業である。マッチングの促進を目指して、関係機関と連携を図りながら推進していく。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		258	265	199	199	184	184	214
決算額 (5年度は見込み)		144	167	125	0	19	113	214
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
求人数(人)		601	1230	1680	0	269	923	
参加求職者数(人)		427	669	914	0	137	356	
就職者数(人)		85	165	194	0	45	76	150
(元年度まではマンスリを含む)					開催実績なし			実施計画目標値
予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
使用料等	会場使用料	19	使用料等	会場使用料	113	使用料等	会場使用料	214

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	557	1,160	603	地方税等	0	0	0
	物件費	19	113	94	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	72	74	2	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 648	▲ 1,347	▲ 699
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	648	1,347	699	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 648	▲ 1,347	▲ 699
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 648	▲ 1,347	▲ 699

備考

令和3年度は一部再開、同4年度は再開した面接会の会場使用料としての物件費が計上されている。その他、今後の運営方法の検討など面接会調整に係る人件費として、給与関係費が計上されている。

問題点・課題

新型コロナウイルス感染拡大の影響の余波はあるが、雇用情勢は回復基調にある。このため、求職者と企業の雇用のマッチングをしっかりと図る必要がある。
令和5年度については、面接会は感染対策を行い実施する。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	今後の感染状況等により、面接会は感染対策を行い実施する。	新型コロナウイルスの感染動向を見極めたうえで面接会を実施し、人手不足業界への就職決定者を輩出することができた。	コロナ後を見据え、面接会の実施方法について検討を行っていく。
②			
③			

他区の実況	(実施 21 区 未実施 1 区 不明 0 区)
	※未実施：千代田区
議会議決要旨	

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-03-03	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	事業所功労者表彰事業	部課名	産業経済部就労支援課	課長名	青木			
		担当者名	浅倉	内線	466			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-19-03	事業所功労者表彰事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	昭和 27（1952）年度	根拠	荒川区事業所功労者表彰実施要綱・同要領					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等	荒川区功労事業所表彰実施要綱					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	05	活力ある地域経済づくり					
	施策	06	就労・人材確保の支援					
目的	区内の中小企業及び商工団体等（以下「事業所」という）の発展に貢献し、勤務成績が優れている従業員を表彰することにより、従業員の勤労意欲の向上と区内産業の人材の確保及び定着を図り、区内産業の活性化を推進する。							
対象者等	①区内の同一事業所に引き続き勤務する従業員で、勤務成績が優秀な者 ②30・40・50年表彰の従業員が属する事業所（過去5年間に同年数の表彰を受けていない事業所）							
内容	<p>事業所から推薦があった被表彰者を表彰審査会にて決定し、「荒川マイスター表彰」及び「商業振興功労表彰」と合同で実施する「産業功労者表彰式」において表彰状と記念品（荒川区共通お買い物券）を授与する。なお、令和2・3・4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、式典開催を中止とした。</p> <p>（記念品）事業所功労者 10・20年 5,000円、30・40・50年 10,000円 功労事業所 30年 10,000円、40年 20,000円、50年 30,000円</p> <p>「令和4年度実績」 事業所功労者表彰 10年表彰 110名 20年表彰 51名 30年表彰 30名 40年表彰 7名 50年表彰 2名 計200名 功労事業所表彰 30年表彰 8所 40年表彰 3所 50年表彰 1所 計12所</p>							
経過	昭和27年度	事業開始（昭和28年1月20日実施）						
	平成4年度	（財）荒川区勤労者福祉サービスセンターに委託開始						
	平成5年度	功労事業所表彰を実施						
	平成13年度	「荒川区産業功労者表彰」として、荒川マイスター表彰と合同で式典を実施						
	平成15年度	荒川区障害者雇用等優良事業所感謝状贈呈も合わせて実施（18年度廃止）						
	平成20年度	功労事業所表彰に30年を追加						
	平成23年度	事業所功労者表彰及び功労事業所表彰に50年を追加						
	平成24年度	就労支援課へ事業移管されるとともに事業を直営化（委託中止）						
		商業振興功労者表彰の新設に伴い、表彰式において同事業を追加して実施						
	平成28年度	障がい者雇用貢献表彰を併せて実施						
	令和元年度	老舗事業者功労表彰の新設に伴い、表彰式において同事業を追加して実施						
必要性	自社で表彰することが難しい中小企業等の従業員を区が表彰することは、従業員の勤労意欲の向上と区内企業の人材の確保及び定着を図り、区内産業の活性化を推進することにつながる。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input checked="" type="radio"/> 会計年度任用職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	被表彰者数(人)	232	236	200	236	250	10～50年表彰計
	②	功労事業所数(所)	20	17	12	17	20	30～50年表彰計
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
継続		継続						
区内の中小企業従業員の勤労意欲の向上と区内産業の人材の確保及び定着を図るため、継続的に実施していく。								

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		2,861	2,674	2,929	2,529	2,403	2,404	2,397
決算額 (5年度は見込み)		2,838	2,451	2,606	2,250	2,229	1,796	2,397
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
事業所功労者表彰受賞者数(人)		259	270	286	232	236	200	236
功労事業所表彰受賞事業所数(所) (50年表彰は平成23年度～)		31	15	17	20	17	12	17
								※予算ベース
予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	手話通訳謝礼金	0	報償費	手話通訳謝礼金	0	報償費	手話通訳謝礼金	7
需用費	記念品(お買物券)等	1,912	需用費	記念品(お買物券)等	1,522	需用費	記念品(お買物券)等	1,988
役務費	郵便料、筆耕翻訳料	317	役務費	郵便料、筆耕翻訳料	274	役務費	郵便料、筆耕翻訳料	376
使用料等	会場使用料	0	使用料等	会場使用料	0	使用料等	会場使用料	26

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	2,227	3,480	1,253	地方税等	0	0	0
	物件費	2,229	1,796	▲ 433	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	287	223	▲ 64	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4,743	▲ 5,499	▲ 756
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	4,743	5,499	756	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4,743	▲ 5,499	▲ 756
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4,743	▲ 5,499	▲ 756	

備考

行政費用の物件費については、表彰対象者の減少および新型コロナウイルス感染症拡大による産業功労者表彰式の開催中止に伴い、2年連続で減少した。

問題点・課題

対象となる区内事業所数が減少する中において、被表彰者数は増加傾向にあるものの、引き続き、広報・周知を積極的に行っていく必要がある。
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2・3・4年度の表彰式典を中止とした。令和5年度については、開催を前提にした方法について検討を要する。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	今後の感染状況等を考慮し、式典の実施方法について検討する。	30年表彰以上の方がいらっしゃる事業主様を訪問し、記念品を直接お渡しするなど、コロナ禍にあっても事業実施に工夫を図った。	式典実施を見据え、実施方法等について検討する。
②			
③			

他区の実況	(実施 13 区 未実施 9 区 不明 0 区)
況(要旨)	※未実施：千代田、新宿、文京、品川、渋谷、中野、豊島、北、板橋
議(要旨)	

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-03-04		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	JOBコーナー町屋管理運営費		部課名	産業経済部就労支援課	課長名	青木		
			担当者名	浅倉	内線	466		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-19-04	JOBコーナー町屋管理運営費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 17	（ 2005 ）	年度	根拠	荒川区ふるさとハローワークの設置及び運営に関する協定書、荒川区内職相談事業要綱			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	（ ）	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	05	活力ある地域経済づくり					
	施策	06	就労・人材確保の支援					
目的	自己検索機による求人情報の提供、職業相談と紹介及び内職相談と紹介等を行う相談窓口をハローワーク足立と連携して設置し、就労支援課と一体となって「あらかわ就労支援センター」として運営することにより、区内における就職活動の利便性を高め、区民の雇用促進及び区内企業の人材確保を図る。							
対象者等	求職者（区民及び周辺住民）							
内容	1 所在地 荒川7-50-9 センターまちや3階 約74.05㎡ 2 開庁日・時間 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）午前10時～午後6時 3 業務内容 (1) 求人情報自己検索機による求人情報の提供（全国オンライン） (2) 職業相談、求職受理及び職業紹介 (3) 内職相談及び紹介 4 利用実績 令和3年度 令和4年度 (1) 来場者数 6,520件 5,903件 (2) 紹介件数 2,475件 1,891件 (3) 就職件数 336件 313件 (4) 内職採用件数 58件 55件							
経過	平成17年 9月13日 ハローワーク足立と「職業相談コーナーの運営に関する協定書」締結 平成17年10月 3日 業務開始 平成22年 4月 1日 ふるさとハローワーク（地域職業相談室）に位置付け 平成24年 4月 1日 あらかわ就労支援センターに位置付け（レイアウト変更） 平成26年 4月 1日 求人情報自己検索機を1台増設（5台→6台） 令和 2年 1月 6日 ハローワークシステム更改により、求人情報自己検索機を2台撤去（6台→4台） 令和 2年 8月 3日 「新型コロナウイルス感染対応 荒川区職業相談窓口」を設置							
必要性	区民の就職活動の利便性を高め、区民の雇用促進及び区内企業の人材確保を図るために必要性は高い。							
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input checked="" type="radio"/> 会計年度任用職員） 「荒川区ふるさとハローワークの設置及び運営に関する協定書」に基づきハローワーク足立職業相談員4名を配置し、職業相談・紹介、内職相談・紹介、求人情報の提供等の業務を行う。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	月間来所者数(人)	416	543	491	600	1000	※月平均 (年間件数を12月で割った値)
	②	月間紹介件数(人)	182	206	157	210	400	※月平均 (年間件数を12月で割った値)
③	月間就職件数(人)	25	28	26	45	60	※月平均 (年間件数を12月で割った値)	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
推進	推進		区民が身近に職業相談できる場所として当事業の意義は大きいことから関係機関と連携を図りながら継続して実施する。					

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	672	506	476	452	390	366	4,285	
決算額 (5年度は見込み)	257	220	214	222	207	198	4,285	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実績の推移	来所者(人)	9920	9068	8295	5001	6520	5903	
	紹介件数(人)	3362	3006	2606	2191	2475	1891	
	就職件数(人)	566	469	412	298	336	313	550
	内職採用件数(人)	100	110	80	54	58	55	実施計画指標値

令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
需用費	消耗品費	14	需用費	消耗品費	23	報酬	職業相談員報酬	2,711
役務費	電話料	193	役務費	電話料	175	職員手当等	職業相談員期末手当	543
						共済費	職業相談員社会保険料	480
						旅費	職業相談員特別旅費	185
						需用費	消耗品費	150
						役務費	電話料	216

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,671	1,740	69	地方税等	0	0	0
	物件費	207	198	▲ 9	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	215	112	▲ 103	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,093	▲ 2,050	43
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	2,093	2,050	▲ 43	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,093	▲ 2,050	43
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,093	▲ 2,050	43	

備考

行政費用では、施設運営に関する給与関係費及び光熱水費・電話料等の物件費がかかっている。

問題点・課題

令和3年度以降は、雇用情勢の一部回復基調に伴い、J O Bコーナー町屋の利用者数・就職者数等ともに大幅に増加した。今後も、関係機関と連携し、さらなる利用者数等の確保に努める必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	今後とも、求職者に対する積極的な支援を実施する。	雇用情勢の回復基調に伴い、求職者に対し積極的な求人支援を実施した。	今後とも、求職者に対する積極的な支援を実施する。
②			
③			

他区の実況	(実施 4 区 未実施 18 区 不明 0 区)
	ふるさとハローワーク設置区 目黒区 (ワークサポートめぐろ) ・北区 (赤羽しごとコーナー) 世田谷区 (ワークサポートせたがや) ・練馬区 (ワークサポートねりま)

議会(要旨)質問状	平成15年2定 本庁舎やムーブ町屋等に職業紹介やあつ旋の場を開設できないか 平成22年3定 既存の就労支援策の充実を図るとともに若者の就労支援策を検討すること 就労支援の担当課を設置すべき 平成23年2定 ニート、ひきこもりなどの若者の就労支援の必要性について
-----------	---

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-03-05	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	若者就労サポート事業	部課名	産業経済部就労支援課	課長名	青木			
		担当者名	浅倉	内線	466			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-19-05	若者就労サポート事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 25（2013）年度	根拠						
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	05	活力ある地域経済づくり					
	施策	06	就労・人材確保の支援					
目的	特に厳しい雇用環境に置かれ、将来的な影響の大きい若年者の就労を支援するため、常設型や訪問支援型の相談窓口を設置するとともに、適性検査等のセミナーを実施し、若年者の正規就労の促進を図る。							
対象者等	求職者（原則として区内及び近隣地域に居住する15歳から44歳までの者）							
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 わかもの就労サポートデスク 若年者の正社員就職への支援のため、相談員が個別相談・指導を行う。平成25年度から専用スペースを設置し、相談員2名の常設型相談コーナーとした。平成28年度から若年無業者を対象に、アウトリーチ型の就業促進事業を実施 2 若者向け就労支援セミナー 主な内容：適性検査、職場でのコミュニケーション方法、応募書類の書き方 3 青年社会貢献活動認証制度（AYV：アラカワユースボランティア認証制度） 大学生等の就職活動に活用できるよう、ボランティア参加等の社会貢献活動を認証 4 企業見学バスツアー 区内高校生が近隣事業所を訪問し、現場の雰囲気や若手社員の経験談を見聞きするバスツアー ※雇用情勢の改善等により目的が達成されたため、平成30年度から休止 							
経過	平成24年度	就労支援課設置・事業開始						
	平成25年度	企業見学バスツアー及び就活バスツアーを新規実施						
	平成26年度	青年社会貢献活動認証制度の愛称をAYV（アラカワユースボランティア）とする						
	平成28年度	若年無業者就業促進事業を東京都人づくり・人材確保支援事業補助金の事業として実施 若年無業者就業促進事業以外の事業を地方創生加速化交付金の事業として実施						
	平成29年度	若年無業者就業促進事業を東京都人づくり・人材確保支援事業補助金の事業として実施						
	平成30年度	若年無業者就業促進事業を東京都地域人材確保・育成支援事業補助金の事業として実施 企業見学バスツアーを休止（目的達成等による）						
	令和2年度	若者就労サポート事業を東京都地域人材確保総合支援事業補助金の事業として実施 若年者支援の年齢条件を39歳から概ね44歳までに変更し、就職氷河期世代への支援を実施						
	令和3年度	青年社会貢献活動認証制度（AYV：アラカワユースボランティア認証制度）事業完了						
必要性	本事業は将来の地域社会を担う若者の就職・就労支援を行うものであり、必要性は非常に高い。							
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） ・わかもの就労サポートデスク、若年無業者就業促進事業、若者向け就労支援セミナー （委託先：NPO法人 青少年自立援助センター）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	サポートデスク利用者数(人)	1041	1316	1366	1400	1500	延べ利用者数 令和2年度は新型コロナの影響
	②	若年者就労支援業務就職決定数(人)	42	36	16	50	70	
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進	重点的に推進	個別相談やセミナー、訪問支援事業等により若年者の就職活動を積極的に支援する事業であるため、重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		19,359	17,312	16,792	16,910	16,469	15,722	15,722
決算額(5年度は見込み)		18,306	16,339	16,534	16,347	16,062	15,537	15,722
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名(5年度は見込み)								
サポートデスク相談者数(人)		1163	1449	1322	1041	1316	1366	1400
セミナー参加者数(人)		60	78	96	67	65	140	
青年社会貢献活動認証数(人)		3	1	0	0	0	-	
※24年度は事業移管前の数値								

予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	消耗品費	157	需用費	消耗品費	33	需用費	消耗品費	167
役務費	電話・インターネット使用料	107	役務費	電話・インターネット使用料	108	役務費	電話・インターネット使用料	145
委託料	若年者就労支援委託	15,783	委託料	若年者就労支援委託	15,255	委託料	若年者就労支援委託	15,256
使用料等	会場使用料	15	使用料等	会場使用料	41	使用料等	会場使用料	54
備品購入費	相談窓口用備品	0	備品購入費	相談窓口用備品	100	備品購入費	相談窓口用備品	100

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
行政費用	給与関係費	2,227	2,900	673	地方税等	0	0	0	
	物件費	16,062	15,537	▲ 525	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	10,522	7,628	▲ 2,894	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	10,522	7,628	▲ 2,894	
	賞与・退職給与引当金繰入額	287	186	▲ 101	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 8,054	▲ 10,995	▲ 2,941	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	18,576	18,623	47	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 8,054	▲ 10,995	▲ 2,941	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 8,054	▲ 10,995	▲ 2,941	

備考 行政費用として、事業実施管理等に係る給与関係費のほか、相談窓口運営・支援実施に係る委託料や会場使用料等の物件費がかかっている。物件費内訳の大半は委託料であり、行政収入としては都補助金が充当されている。委託方式の見直しに伴い経費削減を図った。

問題点・課題 本来支援が必要な若者及び保護者等に、相談窓口の存在が認知されるよう、引き続き周知・広報を行っていく必要がある。
また、支援対象者の新規発見・獲得に努め、関係機関と連携し、利用者に寄り添った支援を一層図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、利用者に寄り添った対応・支援を継続していく。	コロナ禍にあっても、サポートデスクの利用者をほぼ毎月雇用へ結びつけることができた。	引き続き、利用者に寄り添った対応・支援の継続および新規顧客獲得に努める。
②			
③			

他区の実況	(実施 18 区 未実施 4 区 不明 0 区)
	※未実施：千代田・中央・江東・大田

議会(要旨)状況	令和元年度2月会議予特 ・40歳代半ばまでの就職氷河期世代は非正規雇用で働く者も多いため、わかもの就労サポートデスクでこれらの層の求職者の就労支援を行うべきと考えるが、区の見解を問う。 令和3年度9月会議 ・労働問題に対する区の見解と中学生への普及と啓発について
----------	--

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-03-06	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	女性就労サポート事業	部課名	産業経済部就労支援課	課長名	青木		
		担当者名	浅倉	内線	466		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-19-06	女性就労サポート事業					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	平成 27（2015）年度	根拠					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市				
	政策	05	活力ある地域経済づくり				
	施策	06	就労・人材確保の支援				
目的	大きな潜在労働力である女性の就労支援を図り希望する形での就労を実現させることで、地域全体の活力や経済成長を生み出すとともに、支援を受けた女性自身も家庭と仕事の両立など、充実した生活が送れるよう支援することを目的とする。						
対象者等	出産や育児、介護等の理由で退職し再就職を目指す方や仕事と家庭の両立を目指し就職・転職を希望する女性						
内容	<p>1 女性のおしごと相談デスク キャリアカウンセラーによる「おしごと相談」（一般相談）と、社会保険労務士による「社会保険・労働相談」（専門相談）の2種類の相談支援を行う。 開設日時：一般相談 毎週火・水・木曜日 午前10時から午後4時まで 専門相談 毎月第1・3木曜日 午前10時から午後4時まで</p> <p>2 女性のキャリアアップ講座 再就職時に必要となるパソコンスキル（Word・Excel等）、及び職務経歴書の作成方法等の就職活動指導をパッケージ化した7日間講習。3年度は年4回実施。</p> <p>3 女性向け就労支援セミナー 再就職に伴う年金・社会保険・税金等の基礎知識を学ぶセミナーを実施する。</p>						
経過	<p>平成26年度 マザーズハローワーク日暮里開設（平成26年9月1日）</p> <p>平成27年度 事業開始 27年度は、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）に係る事業として実施</p> <p>平成28年度 子育て女性のおしごと相談デスクの開設日時の拡大 （週2日⇒週3日、1日当たり4時間⇒6時間（午前10時から午後4時まで）） 28年度は、地方創生加速化交付金の事業として実施</p> <p>平成29年度 子育て女性のキャリアアップ講座の実施回数を拡大（年4回⇒年5回）</p> <p>平成31年度 おしごと相談デスクとキャリアアップ講座の契約を一本化して実施</p> <p>令和2年度 女性・高齢者の就労支援業務として事業実施 キャリアアップ講座の実施回数を変更（年5回⇒年4回）</p>						
必要性	女性の社会進出を支援する事業であり、必要性は非常に高い。						
実施方法	<p>（<input type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員）</p> <p>女性のおしごと相談デスク・女性のキャリアアップ講座（委託先：株式会社エイジェック） 女性就労サポート事業に係る一時保育（委託先：株式会社明日香）</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
	① 相談デスク相談者数（人・延べ相談者数）	222	245	191	200	230	
	② 相談デスク等進路決定数（人）	18	22	27	40	40	令和2年度は新型コロナの影響
③ キャリアアップ講座受講者数（人）	6	23	18	20	24	令和2年度は新型コロナの影響で開催回数の減	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
5年度	6年度						
重点的に推進	重点的に推進	女性の就職準備を積極的にサポートするものであり、家庭と仕事の両立を目指すなどの区民ニーズが高い事業でもあるため、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額	10,911	11,234	11,550	11,764	10,857	10,141	10,769
決算額(5年度は見込み)	8,300	8,033	10,611	9,932	8,967	9,486	10,769
実績の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名(5年度は見込み)							
女性向け就労支援セミナー参加者数(人)	168	148	161	48	53	69	
おしごと相談デスク相談者数(人)	124	121	178	222	245	191	200
キャリアアップ講座受講者数(人)	32	41	34	6	23	18	20

予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝礼(個人)	24	報償費	講師謝礼(個人)	24	報償費	講師謝礼(個人)	55
需用費	消耗品費	46	需用費	消耗品費	15	需用費	消耗品費	140
役務費	講師謝礼(法人)、電話料	100	役務費	講師謝礼(法人)、電話料	100	役務費	講師謝礼(法人)、電話料	127
委託料	女性就労支援委託等	8,699	委託料	女性就労支援委託等	9,205	委託料	女性就労支援委託等	10,121
使用料等	会場使用料	98	使用料等	会場使用料	142	使用料等	会場使用料	226
備品購入費	相談窓口用備品	0	備品購入費	相談窓口用備品	0	備品購入費	相談窓口用備品	100

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
行政費用	給与関係費	2,227	2,320	93	地方税等	0	0	0	
	物件費	8,943	9,462	519	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	24	24	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	287	149	▲138	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲11,481	▲11,955	▲474	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	11,481	11,955	474	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲11,481	▲11,955	▲474	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲11,481	▲11,955	▲474		

備考 行政費用として、事業実施管理等に係る給与関係費のほか、物件費について相談窓口・講座開催委託費用、一時保育が多くを占めている。

問題点・課題 女性のおしごと相談デスクの相談者及び講座・セミナーの受講者を増やすため、効果的な周知・広報を行う必要がある。キャリアアップ講座については、オンラインの活用や中級講座の実施など、時代に即した新たな取組が求められている。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	中級講座の新規開設などにより、新たな顧客確保の取組に努めている。	中級講座の開催を新規に実施するなど、実施体制の向上に努めた。	女性向け就労支援セミナーやキャリアアップ講座中級講座等の新規顧客獲得に努める。
②			
③			

他区の実況	(実施 21 区)	未実施 1 区	不明 0 区)
	※未実施 千代田区		

議会議決要旨	平成27年度9月会議決特	子育て女性のおしごと相談デスクの開設日等の拡大について
	平成29年度6月会議	女性の社会参加の促進(就労支援策)について
	令和3年度9月会議	四十台以降の女性の就職支援について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	06-03-08	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	シニア就労サポート事業	部課名	産業経済部就労支援課	課長名	青木			
		担当者名	浅倉	内線	466			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-19-07	シニア就労サポート事業						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input checked="" type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	令和 2（2020）年度	根拠						
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅲ	産業革新都市					
	政策	05	活力ある地域経済づくり					
	施策	06	就労・人材確保の支援					
目的	少子高齢化や人口減少が進行するなかで、労働力人口を確保するために高齢者の潜在労働力を最大限に引き出す必要がある。一方で、健康で活動的な「元気高齢者＝アクティブシニア」の大半は何らかの形で就労等の社会参加をしたいと考えている。こうしたアクティブシニアを新しい労働資源と捉え、シニアの再就職支援を図る。							
対象者等	就労を検討、または就労等に向けた準備をしている概ね60歳以上の高齢者							
内容	1 高齢者向け就労支援セミナー ・対象者：概ね55歳以上の求職者 ・令和3年度実績 4回実施（うち2回は、東京しごとセンター共催） 参加者計 101名 ・令和4年度実績 4回実施（うち2回は、東京しごとセンター共催） 参加者計 103名 2 シニアのおしごと相談デスク ・実施内容 概ね60歳以上の高齢者を主たる対象者として、「シニアのおしごと相談デスク」を設置し、再就職に対する不安の解消やアドバイス・関係機関についての情報提供、キャリアカウンセリングを行う（実施方法：専用相談スペース（相談窓口）を設置）。 ・開設日時 相談窓口：金曜日 午前10時から午後4時まで 社会保険・労働相談：毎月第3金曜日 午前10時から午後4時まで ※祝日及び年末年始を除く。							
経過	平成24年度 高齢者向けセミナー事業開始（事務事業名 就労支援事業） 令和2年度 高齢者向けセミナーを就労支援事業からシニア就労サポート事業へ事業移管 女性・高齢者の就労支援業務開始 令和3年度 社会保険・労働相談を毎月第3金曜日 午前10時から午後4時までに開設延長							
必要性	高齢者が意欲と能力のある限り、年齢に関わりなくいきいきと働ける「生涯現役社会」の構築に向けて環境を整えることが肝要であり、必要性は非常に高い。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 女性・高齢者の就労支援業務委託（委託先：株式会社エイジェック）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	高齢者セミナー参加者数	73	101	103	110	200	令和元年度以前の数値は事業移管前の実績
	②	相談デスク利用者数	106	170	131	150	200	令和2年度は新型コロナの影響
③	進路決定者数	12	15	20	20	20		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進		重点的に推進						
年金・保険の受給と就労の両立については区民ニーズが高いため、重点的に推進する。								

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額				—	2,214	2,618	2,505	2,501
決算額 (5年度は見込み)				—	2,026	2,483	2,456	2,501
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	高齢者セミナー参加者数	165	195	140	73	101	103	
	相談デスク利用者数				106	170	131	
	進路決定者数				12	15	20	20
実施計画指標値								
予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	講師謝礼 (個人)	0	需用費	消耗品費	0	需用費	消耗品費	40
需用費	消耗品費	14	役務費	講師謝礼 (法人)	49	役務費	講師謝礼 (法人)	55
役務費	講師謝礼 (法人)	49	委託料	相談・セミナー業務委託	2,369	委託料	相談・セミナー業務委託	2,366
委託料	相談・セミナー業務委託	2,382	使用料等	会場使用料等	38	使用料等	会場使用料等	40
使用料等	会場使用料等	38						

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
	給与関係費	2,227	2,320	93	地方税等	0	0	0	
	物件費	2,483	2,456	▲ 27	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	1,588	0	▲ 1,588	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	1,588	0	▲ 1,588	
	賞与・退職給与引当金繰入額	287	149	▲ 138	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 3,409	▲ 4,925	▲ 1,516	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0	
	行政費用合計 (b)	4,997	4,925	▲ 72	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 3,409	▲ 4,925	▲ 1,516	
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0	
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 3,409	▲ 4,925	▲ 1,516	

備考 行政費用として、事業実施管理に係る給与関係費、相談窓口運営等に係る委託料およびセミナー実施のための会場使用料に係る物件費が計上されている。令和3年度の行政収入については、相談窓口運営業務に対し、都補助金が充当されている。

- 問題点・課題
- ・高齢者セミナーについては、時事や社会背景等から求められる事柄を常に意識し、ニーズに沿ったテーマの選定を行う必要がある。
 - ・相談デスクについては、新規相談者開拓のため、区民への周知・広報等を積極的に行っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、シニアのおしごと相談デスク利用者増を図るため、積極的な周知を行う。	高齢者向け就労支援セミナー参加者に対し、シニアのおしごと相談デスクへの積極的な利用を呼びかけるなど、連携を図った。	引き続き、シニアのおしごと相談デスク利用者増を図るため、積極的な周知およびセミナー・デスク間の連携を行う。
②			
③			

他区の実況	(実施 6 区 未実施 16 区 不明 0 区)
	※実施区 中央区、新宿区、品川区、大田区、板橋区、葛飾区

況 (要旨) 議会質問状